

平成 27 年 12 月 18 日
東京二十三区清掃一部事務組合

世田谷清掃工場対策状況説明会の開催結果について

世田谷清掃工場における作業環境回復の取組について、世田谷清掃工場周辺にお住まいの皆様を対象に、これまでに実施した対策内容や現在の状況などをお知らせするための説明会を開催しました。

本説明会の開催結果について、下記のとおりお知らせします。

記

1 開催結果

日 時	会 場	参加人数
12月 11日 (金) 14時～16時25分	世田谷清掃工場 3F 見学者説明室	22名
12月 11日 (金) 18時30分～20時		9名
12月 12日 (土) 14時 ～ 16時		19名

参加人数合計 50名

2 説明会における主な質疑

別紙のとおり

【問合せ先】

施設管理部 施設課

03-6238-0841

世田谷清掃工場対策状況説明会における主な質疑

No.	質問内容	回答
1	作業環境・周辺環境に関する測定手法及び測定結果は、どのようになっているのか。	作業環境測定は、年2回、第三者機関に委託して実施しています。一組とは別に川崎重工業も自主的に測定を行っており、これも川崎重工業から第三者機関に測定を依頼しています。漏えいが原因で作業環境が悪化したのは、平成23年度と平成26年度の2回です。 周辺大気環境測定は、年1回、周辺4か所と清掃工場屋上で測定しており、いずれも環境基準を下回っています。
2	作業環境改善のための対策内容、費用、信頼性等を確認したい。また、定期的に要した費用はどの程度か。	囲い込み等の対策により、作業環境は大幅に改善しています。全国のカス化炉調査において、同様の課題を克服した例があり、この知見を活用することでさらなる改善につながると考えています。これまでの作業環境に関する対策費用は、川崎重工業の負担で行いました。今後の囲い込み費用は、当組合の負担となるものと考えています。また、それ以外の定期補修工事などの費用は平成20年度から平成26年度までにおよそ19億円であり、他工場と同程度です。
3	計画外停止に伴う他工場への運搬等の影響について、どのように考えているのか。	炉停止時の世田谷工場分のごみは、基本的に千歳工場や近隣の工場に搬入しました。炉停止が続いたことで、運搬経費が計画よりも過大なものとなったことについて、申し訳なく思っています。
4	情報の開示及び周知について、どのように考えているのか。	改善のための作業及び確認に時間を要し、結果的に情報提供の間隔が空いてしまいました。今後は速やかに公表できるように努めてまいります。
5	ガス化溶融炉の導入経緯及び稼働状況について、教えてほしい。	導入の検討は、清掃事業が東京都の事務であった平成9年に始まりました。当時は焼却灰を溶融することが、工場建設に対する補助金の要件ともなっており、このような状況を踏まえて、焼却と溶融を一体化したガス化溶融炉を選定しました。当工場はしゅん工以来、他工場に比べ稼働率は低い状態で推移しています。その中でも平成23、26年度は、作業環境の対策工事を実施したため、特に稼働率が低くなっています。
6	検討委員会の目的、構成員、今後のスケジュール等を教えてほしい。	主な目的は、作業環境悪化の原因究明とその対策などです。構成員は、一組及び世田谷区の部長級職員の9名です。 平成28年度の夏頃、検討委員会の最終的な報告を予定していますが、その前に中間報告として公表する予定です。